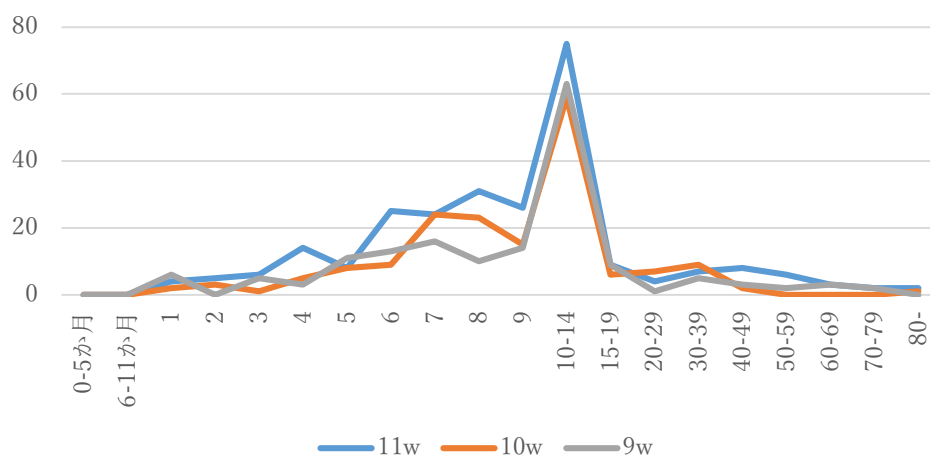


(令和6年3月22日発表)

インフルエンザが再び注意報レベル

<p>◆アピールポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザB型の流行により感染の再拡大がみられ、再びインフルエンザが注意報レベルになりました。 ・特に、小学生での感染が拡大しています。 ・帰宅後や食事前の手洗いの徹底等による感染拡大防止対策に努めてください。 						
<p>◆内容など</p>	<p>令和6年第11週（3月11日～3月17日）にインフルエンザの市内定点医療機関当たりの患者数が「10.36人」となり、注意報レベルの基準値「10人」を上回りました。</p> <table border="1" data-bbox="454 806 1396 952"> <thead> <tr> <th>9週 (2/26～3/3)</th> <th>10週 (3/4～3/10)</th> <th>11週 (3/11～3/17)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6.64</td> <td>6.96</td> <td>10.36</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ●インフルエンザの流行状況は、あらかじめ定められた医療機関（定点医療機関25施設）から、1週間に受診したインフルエンザの患者数を報告してもらい、1定点医療機関あたりの患者数で評価します。 ●流行開始の目安とされている報告数は1、注意報レベルは10、警報レベルの開始は30、警報レベルの終息は10です。 <div data-bbox="454 1288 1428 1926"> <p>インフルエンザ定点当たり報告数</p> <p>定点当たり報告数</p> <p>1 3 5 7 9 11 13 15 17 19 21 23 25 27 29 31 33 35 37 39 41 43 45 47 49 51 53 (週)</p> <p>● 2019年 ● 2020年 ● 2023年 ● 2024年</p> <p>— 注意報レベル — 警報レベル</p> </div> <p>※2020-21 シーズンと 2021-22 シーズンは新型コロナウイルス感染症の影響で検査件数が極端に少ないため、集計の対象外としており、グラフに記載はありません。</p>	9週 (2/26～3/3)	10週 (3/4～3/10)	11週 (3/11～3/17)	6.64	6.96	10.36
9週 (2/26～3/3)	10週 (3/4～3/10)	11週 (3/11～3/17)					
6.64	6.96	10.36					

年齢別インフルエンザ患者数（人）



●インフルエンザは突然の高熱、頭痛、関節痛など、普通の風邪に比べて全身症状が強く、気管支炎や肺炎などを合併し重症化することがあるため、高齢者や乳幼児などは特に注意が必要です。

●インフルエンザの感染拡大防止対策には以下の対策が有効です。

- ・手洗いや咳エチケットの励行
- ・適度な湿度保持
- ・人混みや繁華街への外出を控える
- ・こまめな換気

●新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響でインフルエンザの流行が低調であったこと等の影響で、抗体の保有割合が全年齢で低下傾向にあること等から、インフルエンザの流行が起こりやすい状況にあると考えられます。（国通知より引用）

別紙資料 無

【問合せ】 保健所保健予防課（葵区城東町
城東保健福祉エリア保健所棟2階）
担当 酒井、河村、菅原
電話 054-249-3172